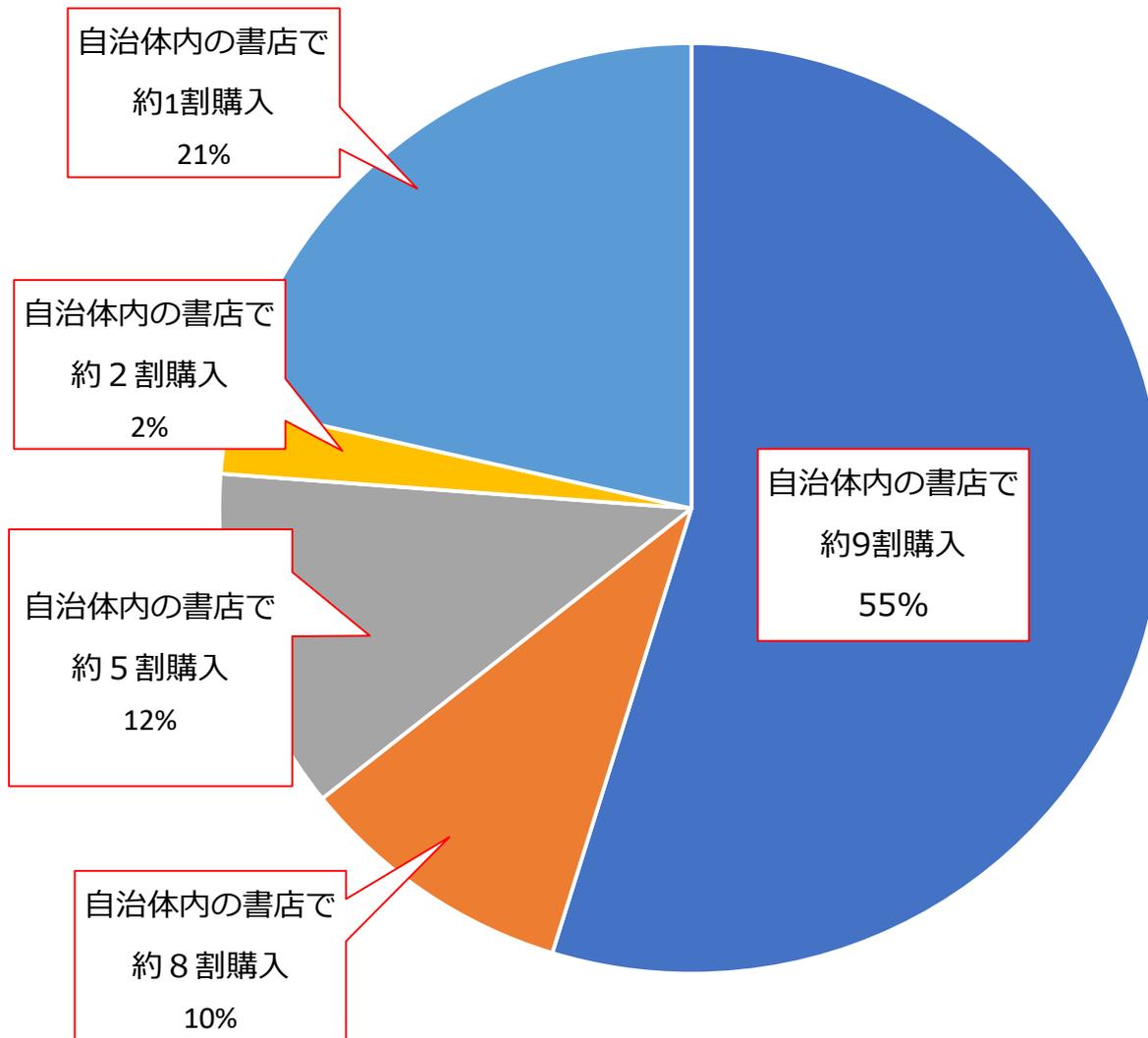


公共図書館アンケート「図書購入及び貸出」

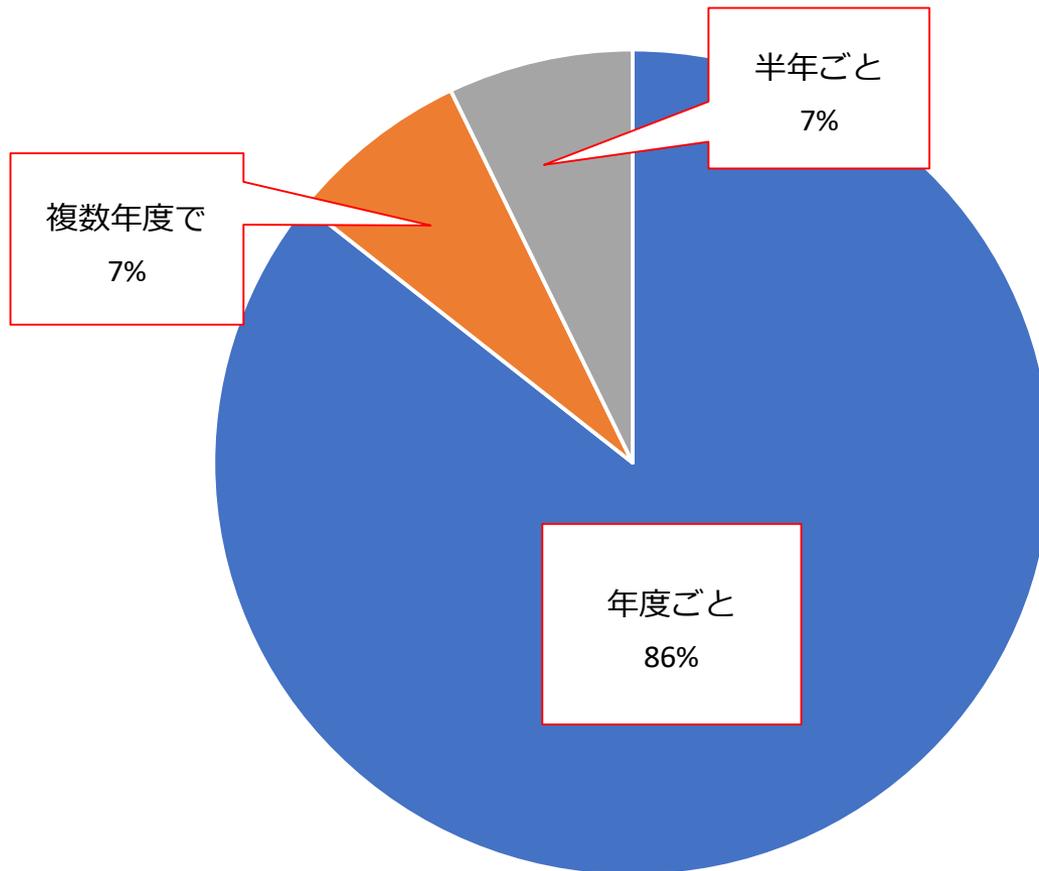
- 対象：人口30万人以上の公立図書館全て計95図書館
- アンケート期間：2023年2月7日から2月28日まで
- 回答図書館：68図書館（回答率71.6%）
- 公共図書館部会長名で都道府県立図書館に依頼し、対象館からメール回答を得た。

1. 資料の納入元：本をどこから購入しているか？



■ 年間に購入する本の約5割以上を自治体内書店から購入する図書館が77%

2. 入札等頻度：購入する書店を入札で、値引き率などから決定する

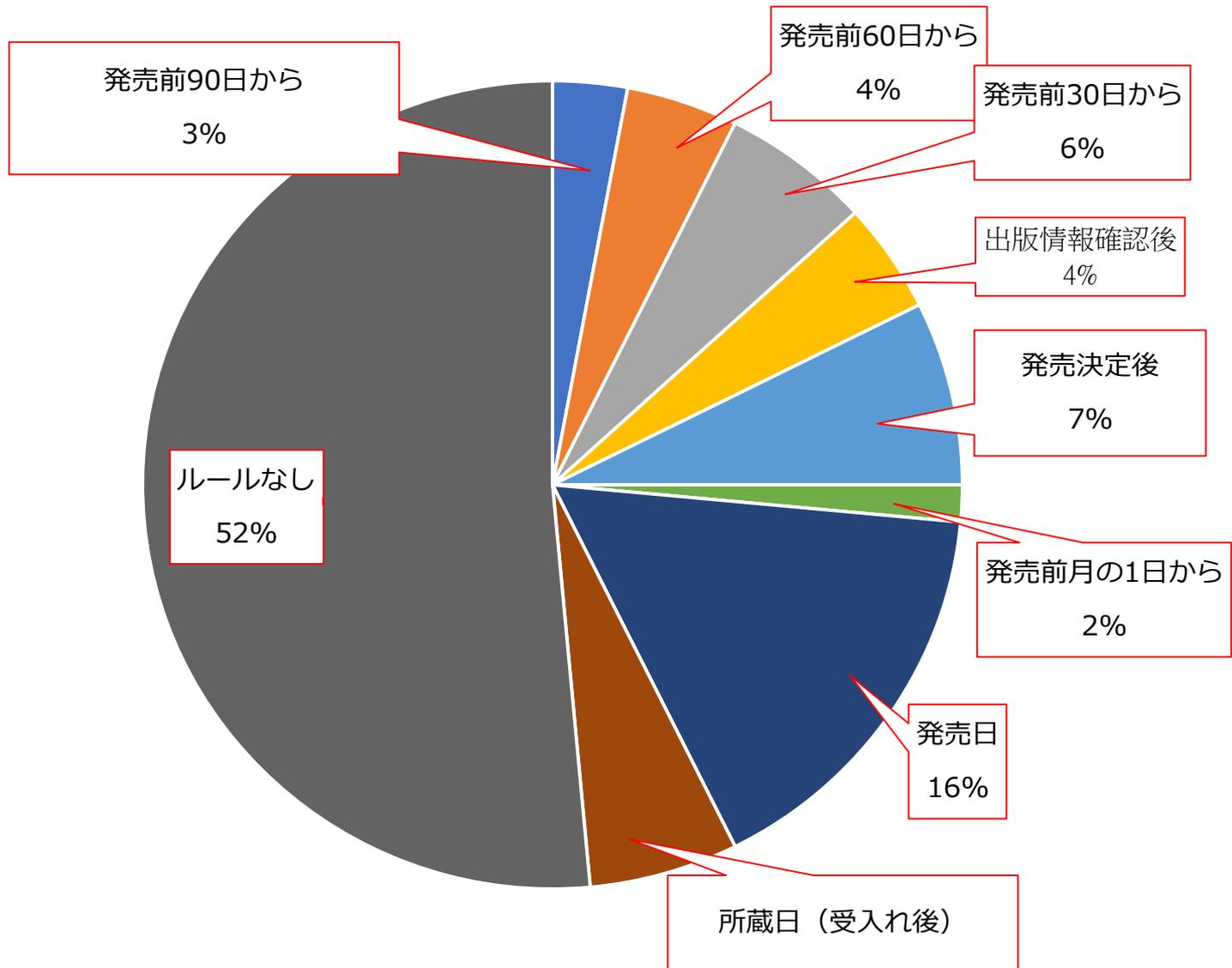


- 年度ごとの入札で購入書店を決めるのが86%
一般的に値引き率は10%程度です

3. 新刊の貸出予約開始ルール

- 人気のある作家の小説などには、その本が図書館の書棚に並ぶ前から（本当に刊行されることが決定される前からも）、
「予約をしておきたい」という利用者がたくさんいます。
- そのため、「貸出予約開始日」を決めている図書館があります。

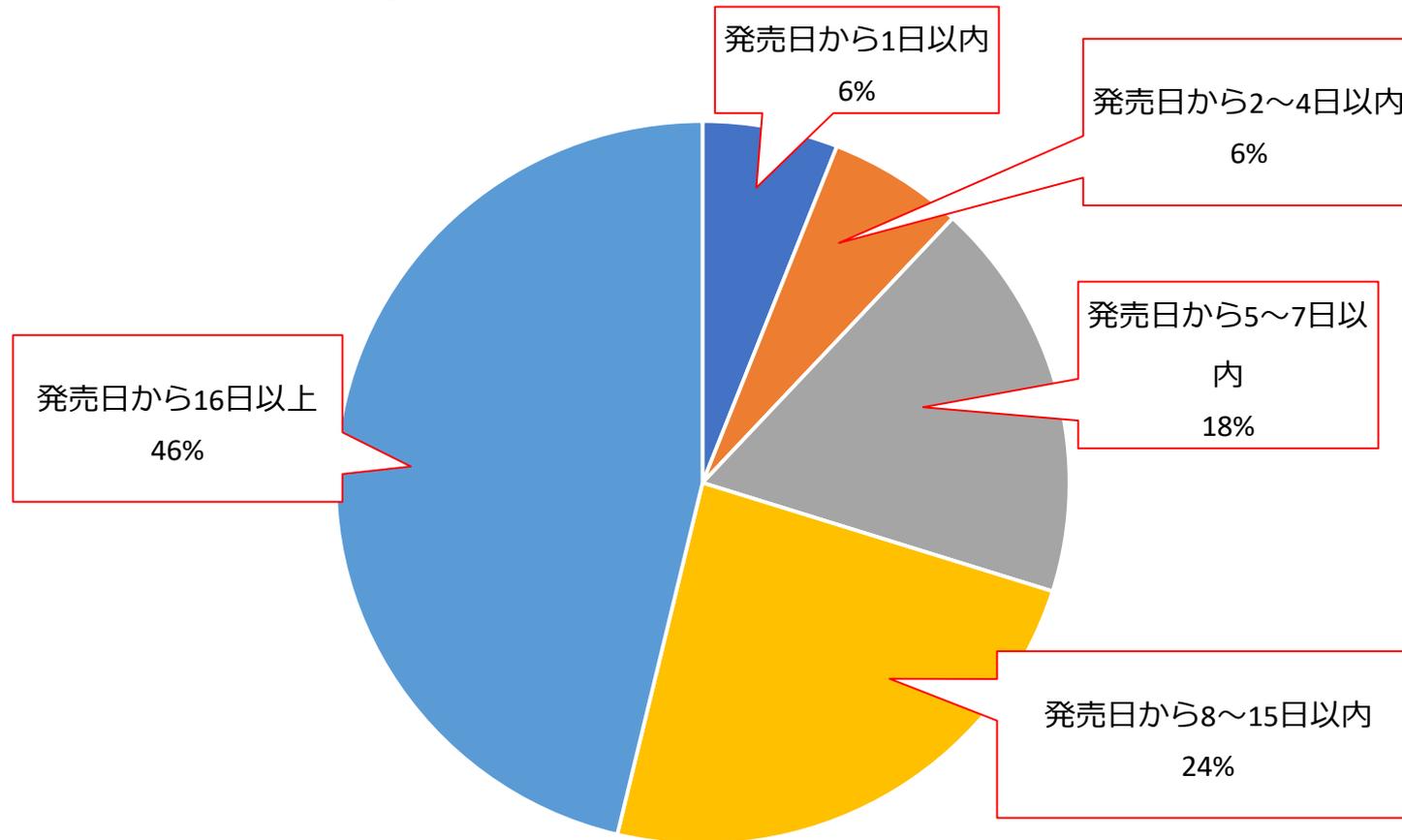
3. 新刊の貸出予約開始ルール



4. 発売日から利用者に提供できるようになるまでの期間

『マスカレードゲーム』 東野圭吾著

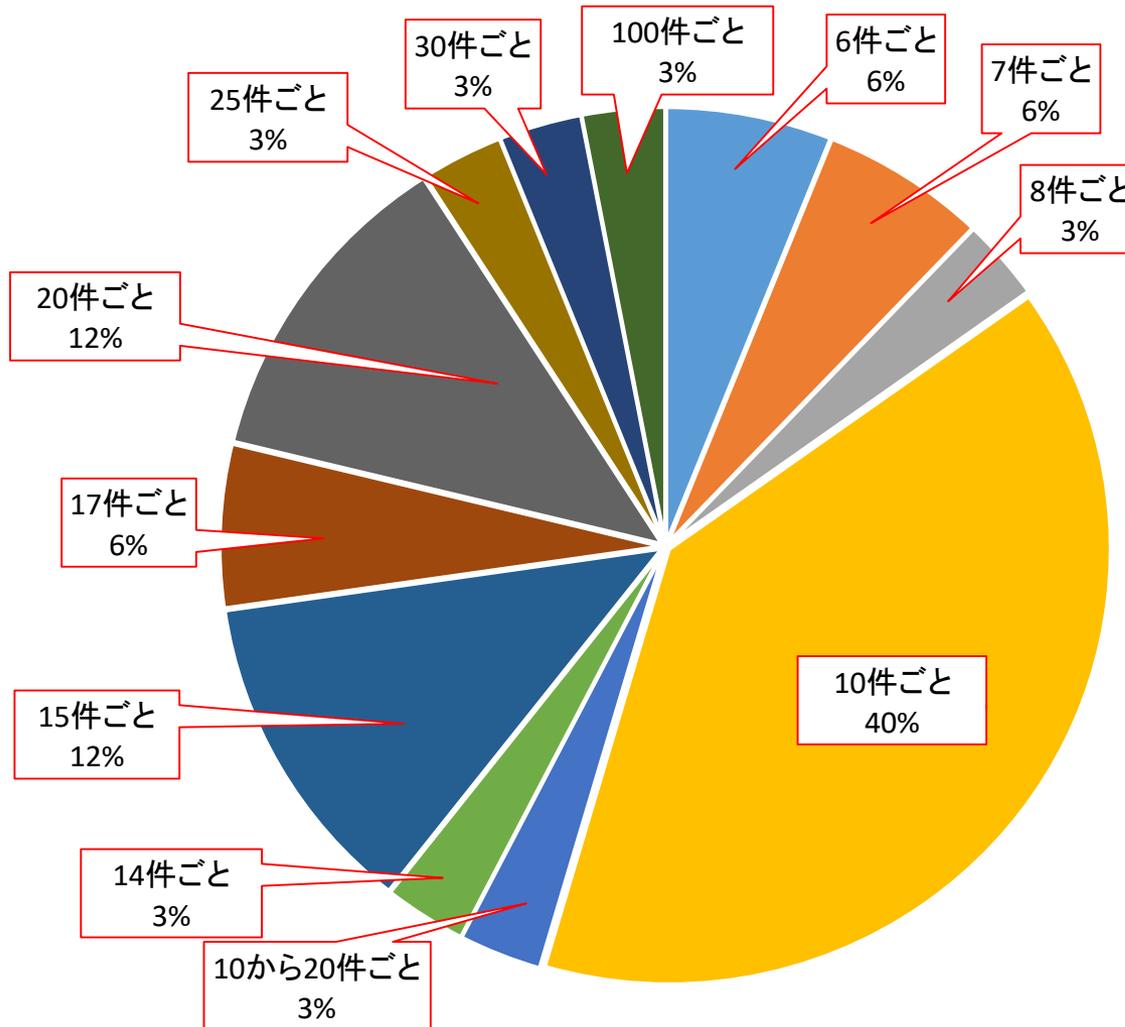
(2022年4月20日発売)



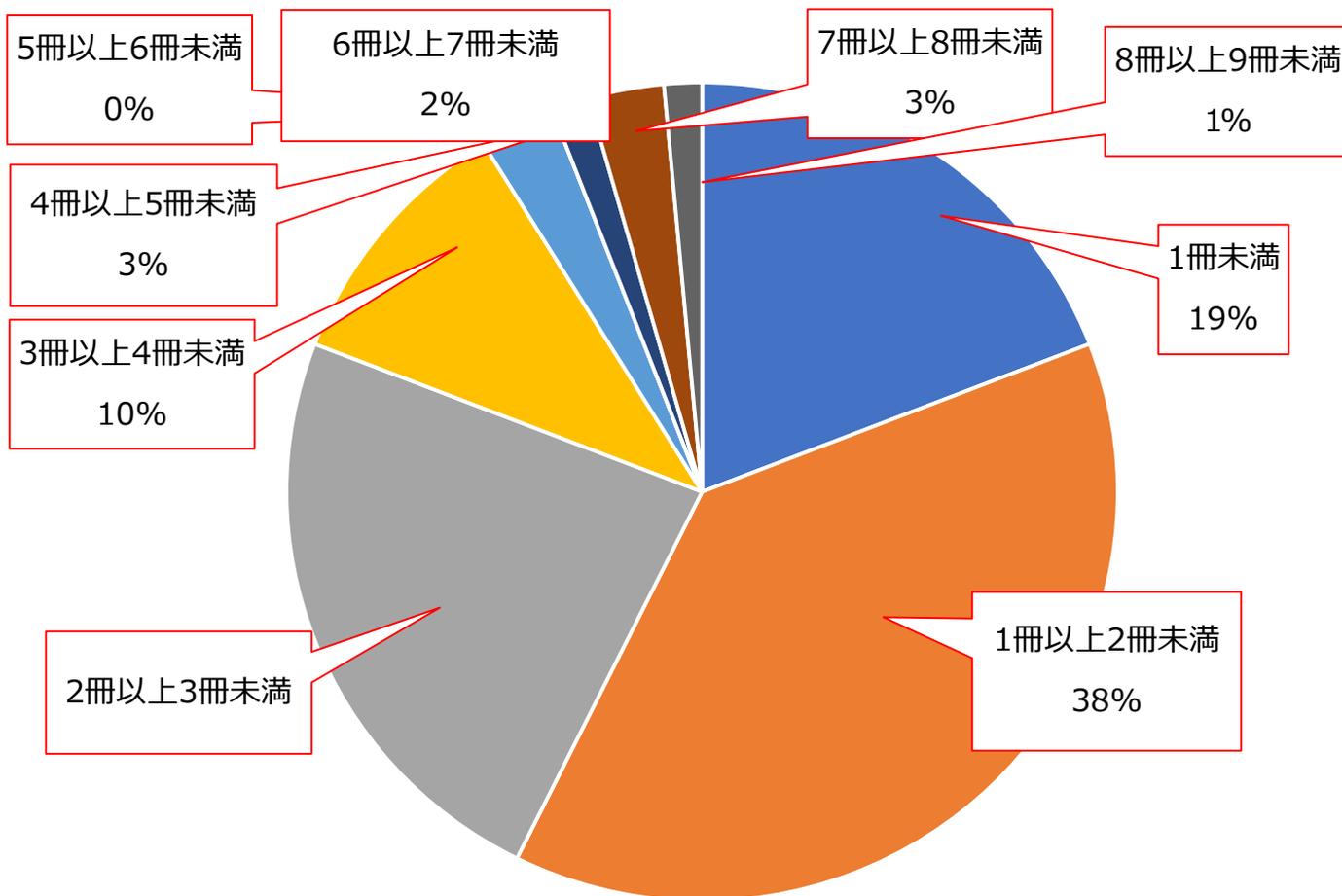
5. 複本購入のルール

- 複本とは、同じタイトルの本を2冊以上購入することをいいます。購入決定は、全て選書会議でルールにもとづいて判断されます。
 - 複本を購入するか否かは、「貸出予約者の数」を参考に総合的に判断するとする図書館が多数です。
- 調査結果では、「10件ごとに」が40%で最も多く、次いで、「15件ごと」と「20件ごと」が共に12%でした。
 - 10件の予約待ちとは、一般的な貸出期限 2 週間の場合、20週後（約5ヶ月後）に11人目の利用者の番となることを意味します。
 - 逆に、約5ヶ月の間、館内の書棚には「その本」が並ばないので、図書館に来ても読めないということです。

5. 複本購入のルール



6. 1館あたりの所蔵冊数『マスカレード・ゲーム』



人口30万人以上の規模の図書館でもそれ程多くの複本は購入していない

対象：アンケートに回答した68図書館（回答率71.6%）

所蔵確認方法：アンケート回答いただいた図書館のOPACで各図書を検索し所蔵を確認した。

市区内の図書館数については、図書の購入アンケートの図書館数を使用した。